4）固定標識による車線規制
①神坂トンネル上り線作業手順(2-1)

制定・改訂日 2025.3.27

	内　　容	留　意　事　項
準　備　工	・作業箇所の確認及び規制予定提出(規制位置の線形確認便乗規制の確認等) ・作業打合せ(KY活動) ・作業人員・車両・保護具・発炎筒等の資材の確認(規制責任者の選任) ・保護具の確認 ・使用機械・器具の点検 ・積み荷の確認・規制箇所との規制材数量確認 ・業務用プレート確認	・安全打合せ書による・規制予定等 ・安全打合せ書による ・作業分担・配置の確認　　・車両の点検結果報告 ・安全打合せ書による ・運行前点検・持ち込み点検等よる(回転灯・工事用車両の表示) ・運行前点検表による　　・積み荷確認書による
作　業　開　始	・一宮管制室へ規制開始の報告。	・規制予定整理番号確認・会社(発注者)ネクスコへの規制連絡
規　制　連　絡	・規制車両及び作業員は中津川廻りで恵下沢EAまで回送する。	・車両移動時の合図の確認
規制材設置	標識設置1：規制車両2台を恵下沢EAに駐車し、自動規制標識を作動させる。 (走行)標識設置2: 自動標識の表示確認をしながらKP276.52非駐迄回送する。 (追越)標識設置2: 自動標識の表示確認をしながらKP276.31非駐迄回送する。 ・非常駐車帯への移動時は標識類をロープ等で必ず固定する	・輪止めの設置(運転手に降車の必要がない場合は除く) ・駐車時、先頭車両のハンドル切りは行わず、後部車両(標識車)のみハンドル切りを行う。 ・標識車の表示は【規制設置中→作業員に注意】とする。(手動可搬標識は　作業中)
テーパー部設置	・本規制(走行規制時)の絞り込みは2段テーパーを実施して行う。1段目は276. 7KPから開始し、 　矢印板16枚を300mの区間20m間隔で設置し登坂車線を絞り込む。(規制標識設置と平行して実施する) 　2段目は276. 2KPから1段目と同様に設置し走行車線を絞り込む。 ・テーパー手前300m～100m(線形に応じて適宜安全と思える場所)で発炎筒を数本使用し仮テーパーを設置する。 【保安員1、作業員1】（3本以上で車線の半分程度まで絞る） ・仮テーパーの発炎筒は保安員の監視の下、作業員が設置する。 ※追越規制の場合 仮テーパーが設置できたら非駐で待機している車両を2台同時に誘導し、仮テーパー内に進入させる。 (誘導は路肩・中分の見通しの良い方の作業員が行う) ・テーパー開始KP上流に矢印板を2枚増設する。(20mピッチ) ・300m区間20m間隔で設置し、はじめの4枚は、路肩に設置し、残り12枚で車線を片側にする ・テーパー設置時は、監視員を1名を配置し一般通行車両の監視を行う。 ・回転灯を15枚目→コードリール30m太郎→コードリール30m標識車を配置する ・ピカボンを7枚～8枚目及び11枚目～12枚目に設置する。 ・ピカどら2基及びピカどら設置中看板を設置する。 ・標識車配置後、字幕表示を工事中のパターンに変更する。	・トンネル用情報板及び信号機の確認 ・矢印板は、専用ウェイト及び土嚢を取付け、転倒防止する。 (ロープで防護柵支柱等に固定可能な矢板は、土嚢を設置しなくても良い) ・転がり防止付き発煙筒を使用する。また、転がり防止が発煙筒に取り付けてあるか確認を行う。 ・発炎筒での火傷・火災注意。 ・発炎筒の消火は消火ポットを使用する。 ・交通監視員は発炎筒の鎮火確認を行い火災予防する。 ・追越規制の場合仮テーパー設置後、矢印板を安全の為、設置する余裕がある場合は車前に設置する。 ・仮テーパー設置後矢印板を設置する。保安員2名配置し1名は一般車に注意喚起し1名は 　一般車に注意喚起をしながら、作業員に危険を知らせる場所にいること。 ・追越側への進入時合図の方法及び徹底 ・回転灯・安全太郎の転倒防止処置及び標識車のハンドルきり曲止めの確認
ラバコン設置	・ラバコンを20m間隔に設置する。(トンネル内は赤白ラバコンで50m間隔に設置する。) ・テーパー部より20m程度の位置にフーセンコーン等・工事内容看板設置 ・トンネル出入り口200m程度の間のラバコンにはひかりっこを設置する。 ・規制解除位置にありがとう標識・解除標識の順に設置する ・規制区間は、駐車帯ごとに超高輝度矢印板を設置し、トンネル内を除く可変式速度規制標識は、 　目隠しをする(トンネルの場合は警制で50に変更する) ・V字型のラバコンは通行帯側が山側となるよう設置する事	・車両発進・停止合図　　・荷台の整理整頓 ・看板等の転倒防止処置　　・ひかりっこ　点灯確認 ・矢印板は、専用ウェイト及び土嚢を取付け、転倒防止する。 ・横断方向のラバコン設置位置及びラバコンの向きを一定方向に設 ・解除標識の真横方向でラバコン設置を終了する事 ・車両の駐車時の曲止め・ハンドルきり確認 ・トンネル内車両は全て回転灯を点灯する
交通監視・交通誘導	・交通監視員は、テーパー部より10m後方でテーパー監視し、異常があれば是正する ・交通誘導がある場合は、工事用車両出入り口と、グリーンキャップを設置し 　交通保安員2名で誘導を行う。 ・工事箇所等は、視認性の良い器具(電気式の矢印・回転灯等)を使用する。 ・とまるぞ一設置	・安全帯の使用 ・車両出し入れは、一般車両の確認を十分する ・工事用車両との合図の打合せ ・後退誘導等は、運転手より見える位置で行う ・監視位置は路肩側で実施
ラバコン解除	・解除看板を倒し、規制材車に積む ・トンネルの場合は、電光標識を車両の全面に配置し、逆走行で撤収する ・AT迂連続で規制を実施した場合、明かり部についても前進にて撤去。 　国原島規制部についても前進にて行う。(方法は島規制撤去手順書に準拠) ・可変標識目隠しカバーを撤収する。 ・フーセンコーン・工事内容表示看板片付け	・車両発進・停止合図 ・撤収安全速度厳守 ・島規制時の誘導の徹底 ・解除中断再開時は規制材の撤収忘れが無い様、作業員全員で周囲の確認をする。 ・後退誘導等は、運転手より見える位置で行う
テーパー部解除	・機材車を後退させながら矢印板を標識車の手前まで撤収する ・交通監視員はテーパー解除作業前に監視箇所よりテーパー先端に 　移動し、発炎筒・旗等により一般車に注意喚起する ・交通監視員はテーパー手前100mに移動して発炎筒を3本以上使用し仮テーパーをつくり 　発炎筒・旗等により一般車に注意喚起する(発炎筒で車線の半分程度まで絞る) ・標識車を後退させながら、矢印板等を撤収する ・トンネル規制開係は、2車線確保できたら一宮管制室に連絡する	・後退誘導実施 ・転がり防止付き発煙筒を使用する。また、転がり防止が発煙筒に取り付けてあるか確認を行う。 ・発炎筒での火傷・火災注意。 ・発炎筒の消火は消火ポットを使用する。 ・交通監視員は発炎筒の鎮火確認を行い火災予防する。 ・線形が悪ければ保安員増員及び発炎筒の複数使用 ・燃え残りの発炎筒の片付け(現場に存置せず持ち帰る) ・仮テーパー設置後矢印板を撤去する。保安員2名配置し1名は一般車に注意 　喚起し1名は一般車に注意喚起をしながら、作業員に危険を知らせる場所に居る。 ・追越車線よりの標識車・機材車の進路変更時の合図及び一般車両確認
車線規制の 規制材撤去の実施	(走行規制時)走行・登坂の2段テーパー撤去後、標識車(2名)は飯田へ回送。 　　機材車(2名)はKP276.0非駐へ回送する。 (追越規制時)追越車線のテーパー撤去後、標識車(2名)は飯田へ回送。 　　機材車(2名)はKP276.0非駐へ回送する。 ・KP276の自動規制標識を作動させ、標識を格納する。 ・機材車(2名)で、園原～中津川間りで格納確認を行 　　※故障を発見した場合、メンテ担当者へ連絡。施設へ修理依頼 ・非常駐車帯毎の移動時は標識類をロープ等で必ず固定する	・トンネル用情報板及び信号機の確認　　・積み荷の確認 ・輪止めの設置(運転手に降車の必要がない場合は除く) ・駐車時、先頭車両のハンドル切りは行わず、後部車両(標識車)のみハンドル切りを行う。 ・荷造り時通行帯側へは出ないこと。 ・規制材を2人で積込む場合は声を掛合い意思疎通を図る
規制材撤去の完了	・格納確認後、規制解除連絡を一宮管制室に非常電話より連絡する ・事務所へ回送	・積み荷の確認 ・規制予定整理番号確認・会社(発注者)中日本への規制連絡

※注意事項

・工事箇所手前にはとまるぞ一を設置し(60m手前)、現場が常に移動するような場合は盾車両を代用して配置する。
・規制延長が長い場合には、規制設置・撤去時に適宜作業員の交代を行うこと。
・車両移動時の急発進禁止　　・積み荷完全確認(規制材を2人で積込む場合は声を掛合い意思疎通を図る)
・本線横断時の確認不足禁止　　・ネットシートにて荷台の覆い
・発炎筒の確実使用　　・立て看板の防護柵への転倒防止
・一般通行車両との車間距離の確認
・規制設置・撤去時　標識支柱を点検し、劣化してる物は直ちに交換する
・一人作業の禁止
・発炎筒をLED発炎筒への読み換えを可能とする。
＜監視員の役割＞
・監視員は回収車の荷台の上の、運転手後方確認の妨げにならない箇所で、一般車に正対し黄旗にて注意喚起を行うとともに、
作業員の安全監視を行う。
・監視員は一般車の不安全運転、障害物や作業員の突発的事象を確認した場合は、速やかに[しらすんだー]で運転手・作業員に警告する。
・連絡手段は[しらすんだー]に限らず、他の通信機器(インカム・トランシーバー・警笛等)でも可。

作業編成(標準)	員数	資機材
規制責任者	1名	
作業員	2名	トラック(機材車)・標識車
交通監視員	2名	発炎筒・黄旗

安全器具・保護具確認

ヘルメット	安全靴
反射(自発光)チョッキ	発炎筒
反射スパッツ	黄旗(カラマンデー)・警光棒
手袋	警笛